

聴く態度が素晴らしいじゃないか

三年学年開き



成長・貢献・感謝

始業式後に行われた三年生の学年開きを見に行きました。

三年担当の先生方、お一人お一人が、それぞれの抱負や決意・覚悟・三年生に期待することなどを一文字・四字熟語にしたため、それぞれの個性がにじみ出る言葉で披露されておりました。

ユニークな学年開きであつたため、かも知れませんが、D先生が「聴く」という字は、単に耳だけで聞くのではなく、ちゃんと耳に目と心を（十）足して、聴くのですよ。」とおっしゃった通り、三年生達は、よく集中して聴いていました。聴く態度が素晴らしいじゃないか。三年生としての自覚が出てきた学年開きじゃないか。

「当たり前の事が、当たり前にできること」それが、貢献です。これからの学年よりも早く来て、座って静かに「時を待つ姿勢」が示せるよう期待したい。素晴らしい学年開きでした。感謝。

羽地中学校
学校だより 5号
2019. 4. 10

四月十日は教科書の目

林修せんせいのごことは検定によると、今日、四月十日は「良い図書」という意味をこめて、「教科書の目」と教科書協会が中心となって二〇一〇年に制定したようです。

三年担当職員の決意



皆さん、おはようございます。皆さん、おはようございます。名護中学校からきましたS・Kといひます。教科は英語です。これから羽地中学校の皆さんと勉強していくことを楽しみにしています。よろしくお願ひします。

新任式ごあいさつ

皆さん、お早うございます。皆さん、憶えている人と憶えていない人がいるかも知れませんが、私は去年の5月頃に教育実習生としてきました。大学を卒業して、皆さんに会いに来ました。皆さんこれから数学を楽しく勉強していけたら良いなと思ひます。よろしくお願ひします。

